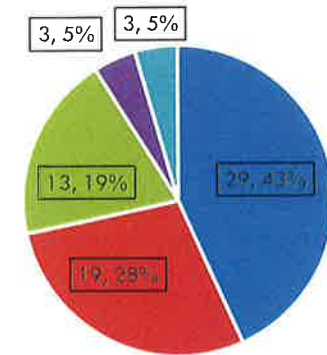


【観光プラン提案書】

チーム名	南の国から
学校名 学科・専攻	琉球大学 法文学部 総合社会システム学科 政治・国際関係専攻

応募プラン名	オイシイ旅―道南の魅力をギュギュっとお得に―
プランのポイント (箇条書き)	<p>①その土地でしかできない体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかつり…釣り好きにはもちろん、初心者でも楽しめる ・キャンプ…釣ったイカをその日に焼いて食べる ・乗馬…駒ヶ岳を見ながらの乗馬はここでしかできない贅沢なひと時を過ごすことができる。 ・サイクリング…沼の周りを森林浴サイクリング。北海道感が味わえる。 <p>②体験を通して地域の方々と交流できる。</p> <p>③渡島・檜山地方へ興味をもつ入り口として、まず押さえておきたい魅力を詰め込んだ。</p> <p>④学生向けの行動力を前提とした節約プラン。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプとレンタカーは友達と割り勘でお得に、楽しく、楽な旅。

北海道に行けるとしたら何がしたいですか



- 美味しいものが食べたい
- 体験型アクティビティがしたい
- 自然を体感したい
- 観光地を巡りたい
- その他

チーム名	南の国から	応募プラン名	オイシイ旅—道南の魅力をギュギュっとお得に
------	-------	--------	-----------------------

◎道南の現状分析

1. 北海道新幹線開業による観光客の増加⇒リピーターを増やすチャンス。道南で北海道の魅力を伝える。

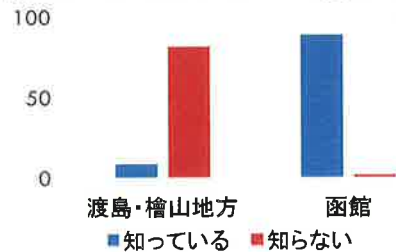
28年3月に北海道新幹線が開業し、その年の新幹線の利用者数は、前年度と比較して64%増の229万人となった。また、この開業により、新幹線だけでなくフェリー、航空機にも相乗効果が表れ、前年度より22%増の232万人となり、函館市内の宿泊施設や観光施設利用者の増加にも寄与した。この勢いを継続させるため、リピーターを増やすことを狙ったプランを練る。また、新幹線開業に伴い、東北に訪れた観光客も一歩足を延ばして北海道に来てもらうことができる。新幹線は初めに道南に到着するので、道南の個性を生かしつつ“北海道らしさ”を体験してもらうことでリピーターに繋がると思われる。

2. 人口減少の問題⇒北海道の魅力を発信して「住みたい」と興味を持ってもらう。

国立社会保障・人口問題研究所が公表した「地域別将来人口推計(平成25年3月推計)」によれば、道南地域の人口は、今後、全国に比べ急速に減少し、2040(H52)年には298千人程度(2010(H22)年比63%程度)まで減少すると予測されている。旅行をきっかけに、道南を盛り上げて移住したいと思ってもらえるようなプランにする。人口減少に伴い労働人口も減少しているため、漁業・農業の体験をプランに取り入れることで、これらの仕事に興味を持ってもらうことを狙う。これにより、道南の魅力である漁業と農業の維持につなげる。

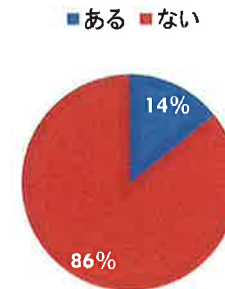
③ 認知度⇒函館から渡島・檜山地方へ人を流す。

琉球大学の学生91人にアンケート調査を行ったところ、「渡島・檜山地方を知っているか」という質問に対して「知っている」が9人、「知らない」が82人という結果であった。しかしながら「函館を知っているか」という質問に対しては、「知っている」が89人、「知らない」が2人と真逆の結果となった。観光地として有名な函館はほとんどの学生が認知していたが、渡島・檜山地方となると、「初めて聞いた」「全く知らない」という言葉が多々見られた。なお「函館に旅行したことがあるか」という質問に対して、「ある」と答えたのが13人、「ない」が78人という結果となり、このアンケートから「函館は知っているが行ったことがない」という学生が多く存在している現状を再確認した。



そこで、観光地として有名で、旅行のイメージがしやすい「函館」を中心としたプランを計画し、その周辺の地域も少しプランに取り入れることで、渡島・檜山地方の存在を知ってもらい、次回“函館以外の渡島・檜山地方”に訪れてくれることを狙う。

函館に旅行したことが...



(1日目)

イカ釣り

季節、潮の流れ、天候などで毎日異なるが、船長ができるだけ釣れるポイントへ案内してくれる。

親切な指導付きで女性、子どもでも簡単にイカ釣りを楽しむことができる。

9時便が 90%~80%の確率でイカが釣れるため、確実に1匹以上釣ることができる。

釣ったイカを函館朝市にある居酒屋「函館ダイニング雅家」でさばいてもらい、食べることができる。

最高の鮮度なイカ刺しを、500円という安さで味わうことができ

赤レンガ倉庫

食事、ショッピング、歴史、ロケーションで様々な魅力を持つ赤レンガ倉庫。

金森洋物館は”西洋の豊かな生活文化”をテーマとされ、多くのショップが集合している。オルゴール堂やティンバー館など、魅力的なショップも多い。お土産探しも赤レンガ倉庫で十分満足できる。

函館オートキャンプ場

天候を気にせず快適なキャンプを楽しめるキャビンは装備も充実。広々とした心地よい空間でゆったりと過ごすことができる。バリアフリータイプや浴室付きの棟もあり、非日常を楽しむのには最適なキャンプサイトである。

持ち込み可能なので、朝釣ったイカを持ち込み調理することができる。

(2日目)

大沼公園

3つの湖や点在する大小様々な小島、沼、木々や動植物など、大自然に囲まれた場所である。自然を目で見て感じるだけでなく、サイクリングやボート、乗馬、セグウェイ、ジップラインなど様々な設備が整っているため、道南の大自然を身体全体で感じることができる。

花の湯

珍しい炭酸ガスのついた庭園露天風呂。和風・洋風の2種類があるが、どちらも四季折々の木々や花々を鑑賞できる。

日帰り温泉の魅力の1つが金額の安さである。1人 440 円という安さで大自然を十分に堪能し、身体の疲れをいやすことができる。

Paard Musee

Paard Musee では、「森の暮らし」「農園の暮らし」「牧場の暮らし」の3つの暮らしを展開している。

大自然の中で生き物本来の暮らしや、文化を体験することができる牧場である。

また、単なる乗馬ではなく、馬との暮らし体験やホースセラピー、馬搬、健康乗馬など、馬との関係性を大切にしたりしたプログラムがあり、初心者でも楽しむことができる。

函館山夜景

日本三大夜景にして、世界三大夜景でもある函館山は、季節を問わず毎日多くの観光客でにぎわっている。

標高 333m から望む夜景は「100 万ドルの夜景」といわれるが、その名にふさわしい程美しい夜景を魅せてくれる。

(3日目)

朝市

函館朝市は歴史も古く、戦後から地元市民に親しまれてきた市場である。早朝から威勢の良い声が飛び交い、つねに活気にあふれている。

新鮮な魚介を食べさせてくれる食堂、市内でも有名なラーメン店、海産物を取り扱うお土産店などが並ぶどんぶり横町は、函館の味を存分に堪能できる。

五稜郭

五稜郭は北方防備の目的で造られた日本初のフランス築城方式の星形要塞で、国の特別史跡に指定されている。この五稜郭の歴史は江戸時代末期から始まり、美しい景色と共に日本の歴史を体感することができる。

函館市内の美しさを楽しむ全面ガラス張りのタワーや、精巧なジオラマとグラフィックパネルで五稜郭の歴史を学ぶ五稜郭回廊など、魅力的なスポットも多い。公園の全貌を楽しむだけでなく、歴史を学んだ上で観光することができる。

イカ釣り・乗馬・サイクリング・キャンプと、外での体験を**すべてできる**ように、
旅行時期を**7・8・9月**とした**夏のプラン**。

◎プラン詳細

1日目

9:00函館住吉漁港にてイカ釣り体験(約2時間)

↓10分

11:15函館駅前の星龍軒で昼食、市場で買い出し(約2時間)

↓10分

13:30金森赤レンガ倉庫(約1時間)

↓30分

15:30函館オートキャンプ場に到着、チェックイン後バーベキュー



2日目

9:00キャンプ場出発

↓1時間

10:00沼の家で大沼団子を食べ、サイクリング(2時間)

↓10分

12:30山川牧場レストランにて昼食

↓15分

15:00Paard Museeで乗馬体験(2時間)

↓45分

15:45函館ルートイングランティア函館駅前チェックイン

↓15分

16:00湯本 花の湯で日帰り入浴

↓20分

18:00函太郎 宇賀浦本店

↓10分

20:00函館山夜景

↓10分



20:30函館ルートイングランティア函館駅前

3日目

8:00朝市で朝食

↓10分

9:30箱館奉行所、五稜郭公園散策、五稜郭タワー見学

12:00～五稜郭タワー内で昼食、五島軒のカレー



◎予算概算(交通費、食費、宿泊費)

1日目(イカ釣り:6000円、星龍軒:1000円、キャビン:2600円、BBQコンロ:300円、BBQ買い出し:1000円、小計:10800円)

2日目(大沼団子:390円、サイクリング:1000円、山川牧場:1000円、Paard Musee:出会い旅 8000円、ホテル:6500円、花の湯:440円、函太郎:2000円、小計:19330円)

3日目(朝市:1000円、奉行所:250円(学割)、五稜郭タワー:900円、五島軒:1000円、小計:3150円)

軽自動車2泊3日(2500円)

合計:35,780円